



第8回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権 「もうひとつの高校選手権 2022」開催要項

- 1 目的 知的障害者特別支援学校高等部の部活動の目標となる全国大会とする。
知的障害者のスポーツ促進、生涯学習の環境作りと推進に寄与する。
- 2 主催 特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟
- 3 主管 特定非営利活動法人静岡 FID サッカー連盟
もうひとつの高校選手権実行委員会
- 4 後援 スポーツ庁、公益財団法人日本サッカー協会、
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、
一般社団法人日本障がい者サッカー連盟、
全国特別支援学校知的障害教育校長会、全国手をつなぐ育成会連合会、
静岡県、静岡県教育員会、一般財団法人静岡県サッカー協会、
公益財団法人静岡県障害者スポーツ協会、静岡県特別支援学校長会、
静岡県知的障害者福祉協会、静岡県手をつなぐ育成会、藤枝市、
藤枝市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送
(予定)
- 5 協賛 公益社団法人静岡県宅地建物取引業協会
株式会社コーチャー、三井農林株式会社、株式会社森住製作所
T-LIFE パートナーズ株式会社、堀江車輛電装株式会社
大塚製薬株式会社
- 6 期日 令和5年2月18日(土)19日(日)
- 7 会場 藤枝総合運動公園サッカー場、人工芝グラウンド、藤枝市民グラウンド
- 8 参加資格
 - ①知的障害特別支援学校高等部に在学中の単独部活動チームであること。尚、本大会におけるチーム名は学校名とする。
※本校+分校を含めた複数校合同チームは不可とする。
 - ②年度内の健康診断で運動に制限がないことを所定の用紙を使って、学校長名で証明できるチームとする。
※特別な配慮については、事前に連絡すること。
 - ③選手・スタッフ共にスポーツ傷害保険に加入していること。
※学校で加入する日本スポーツ振興センターの災害救済給付制度も可能
 - ④特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟に加盟する都道府県に属するチームであること。
 - ⑤特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟に選手登録している選手であること。
 - ⑥移籍選手：本大会の予選を通して、選手は他のチームで参加(参加申込)していないこと。
 - ⑦転校後6か月未満の者の参加を認めない。(外国人留学生もこれに準じる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、当該2校の学校長の許可があればこの限りでない。
 - ⑧1チームの登録人数は、選手20名以内、役員6名以内とする。宿泊上限人数も同数とする。
 - ⑨全国大会出場決定後の追加登録は認めないこととする。追加登録の締切は各地大会前日までとする。

- 9 参加チーム 全国から都道府県予選と地域予選を勝ち抜いた 12 チーム
・関東 4 チーム・東海 4 チーム・関西 2 チーム・九州 2 チーム
- 10 大会形式
- ①1 日目 3 チームによるリーグ戦
 - ②2 日目 ア リーグ戦の 1 位によるトーナメント戦
イ リーグ戦の 2 位による試合 1 試合 5 位 2 チーム、7 位 2 チーム
ウ リーグ戦の 3 位による試合 1 試合 9 位 2 チーム、11 位 2 チーム
- 11 組合せ 令和 5 年 1 月 14 日（土）に連盟で代理抽選会を実施しメールで案内する。
- 12 参加申込
- ①下記の 3 点について必要事項を入力し、令和 5 年 1 月 9 日（月）までに hs@jffid.com にメール添付で送信すること。
 - ・様式 1 「もうひとつの高校選手権 データ入力シート」
 - ・様式 2 「報道に関するアンケート」
 - ・様式 3 3-2 「安全資料」
 - ②宿泊先については、連盟にて手配いたします。様式 4 「旅行業者担当者用シート」に必要事項を記入し、令和 4 年 12 月 28 日（水）までに kuroiwa_katsuhiko@t-life.co.jp にメール添付で送信すること。人数変更等の最終メ切りは令和 5 年 1 月 9 日（月）です。
- 13 大会出場にかかる費用
- ・チームエントリーフィー 1 チーム 20,000 円
 - ・宿泊費 1 名（1 泊 2 食）9,500 円 程度を予定 ※前後泊も同額（基本シングル、ツイン、トリプル対応とする。）
 - ・お弁当代 1 食検討中
- 14 費用の払い込み 令和 5 年 2 月 3 日（金）までにチームエントリー費のみ下記に振り込むこと。
銀行名:PayPay 銀行 支店名:ビジネス営業部
支店番号:005 普通 5702370
トクビ ニホンチテキショウガ イッサッカレンメイヨウムインカイ
※振込後は、特別な理由がない限り返金はできません。
- 15 前日練習
令和 5 年 2 月 17 日（金）午後藤枝総合多目的広場（人工芝グラウンド）で前日練習が可能、様式 1 「選手権データ入力シート」に記入すること。希望校が多い場合は調整します。
- 16 その他
- ①本大会へ参加する方については、閉会式及び競技中において、大会本部より許可された報道関係者または主催者における新聞やテレビ放映のための写真撮影、VTR 撮影等について、了承した上で参加をお願いします。
ただし、個人写真の使用、個人にインタビュー等については、事前に承諾の確認を取ります。
 - ②日本知的障がい者サッカー連盟ホームページや SNS に、大会要項、試合結果、写真が掲載されることがあります。
 - ③出場選手の大会期間中の生活面での指導については各チーム監督の責任において遺漏のないようにすること。健康管理、食生活指導についても充分留意すること。
 - ④学校及び家庭における事前の健康観察を充分にすること。チェックリストを必ず提出すること。
 - ⑤各自「健康保険証」を持参すること。
 - ⑥家庭における事前の健康観察を充分にするように、各学校で指導すること。チェックリストを必ず毎日つけ、大会参加時に提出すること。

- ⑦大会期間中にチームの選手、関係者が罹患した場合は、学校で対応すること。事前に役割分担を学校として確認しておくこと。また、その際に係る費用については、学校で負担する。
- ⑧連盟の危機管理マニュアルに則って、対応すること。
- ⑨静岡県を受け入れ状態により、抗原検査、PCR検査を依頼する場合があります。
- ⑩大会への参加については、学校長の判断により、連盟が指示する感染予防対策を遵守し必ず本人及び保護者の同意を得た上で、参加することを条件とする。
- ⑪大会期間中に、チーム関係者及び選手が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合、チームの大会への参加については、大会主催者と協議をして、最終的には、学校長の判断とする。
- ⑫今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、対応が変更になる場合もあります。また大会を中止とする場合もありますので、御承知おき下さい。
- ⑬感染症対策のため、大会が中止となった場合や、参加辞退となった場合の各種キャンセル料金については、連盟は、一切の責任を負わず、参加校の責任（支払い）とする。

競 技 規 則

（公財）日本サッカー協会競技規則 2021/22 に準じ、実行委員会の申し合わせ、競技会規定および競技実施要綱により実施する。

参考：<http://www.jfa.jp/laws/>

競 技 会 規 定

- 1 競技のフィールド
 - フィールド表面は平坦で常緑な天然芝又は人工芝であり、ピッチサイズは原則 105m×68m であること。
- 2 ボール
 - 試合球は 5 号検定球とする。
 - ※試合球は高校選手権と同じボールを使用する。
- 3 競技者の数と交代
 - ①競技者は 7 名以上 11 名以下とし 5 名までが交代出来る。
 - ②登録選手は 20 名までとし、ベンチへはその 20 名が入れる。大会エントリー用紙に登録している選手で、メンバー提出用紙に記入されている者に限る。
 - ③試合開始前に 11 名の先発選手と 9 名以内の交代要員の氏名と背番号をメンバー表にて通告しておき、そのうち 5 名までが試合の停止中に主審の許可を得て交代できる。
 - ④交代した選手が再度ピッチに入ることは出来ない。
 - ⑤てんかん等の発作（その他障がいによる）による交代は別枠として常時可能とするが、交代した選手は当該試合に出場できない。（この場合は 6 名以上の交代が可能になる）
 - ※事前にててんかん発作がある旨を別紙安全資料に記載し証明しておくこと。
 - ⑥脳振とうの扱いについては、（公財）日本サッカー協会競技規則 2021/22 に準じる。
- 4 役員の数
 - ベンチには 6 名まで入れるがテクニカルエリアには 1 名のみ入れることができる。
- 5 警告
 - ①大会中、2 回の累積警告を受けた競技者は、次の 1 試合に出場できない。
 - ②大会中、退場処分を受けた選手の出場停止処分はもうひとつの高校選手権実行委員会内のフェアプレー委員会で決定するが、「同一大会」における直近の試合に適用される。ただし、同一大会内で消化しきれない場合は、大会終了時点で消化したものとする。
 - ③予選会での警告については、全国大会には、反映しないものとする。しかし、退場処分があった場合については、連盟に報告をし、事前に各校に連盟より処分を伝える。

6 ユニフォーム

原則として（公財）日本サッカー協会ユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

参考：<http://www.jfa.jp/documents/pdf/basic/br22.pdf>

正・副2色を用意し、監督者会議（MCM）で当該チーム監督及び審判の協議により着用ユニフォーム（ビブス）を決定する。

アンダーシャツやスパッツを着用する際は、それぞれユニフォームやパンツと同色を使用すること。（ソックスと同色ではない）

7 試合形式

①試合時間 40 分（前・後半 20 分）リーグ戦及び準決勝、順位決定戦
3 位決定戦と決勝は 60 分（前・後半 30 分）

②ハーフタイムのインターバル

原則として 10 分（前半終了から後半開始まで）

③リーグ戦の順位を決定する方法

ア 勝利=3 点、負け=0 点、引き分け=1 点

イ 全試合の得失点差

ウ 該当するチームの試合の対戦成績（イ：勝点、ロ：得失点差、ハ：総得点数）

エ 全試合の勝利数

オ 全試合の総得点数。

カ 全てが同じになった場合は、抽選で順位を決定する。

④決勝トーナメント、順位決定で勝敗が決定しない場合、延長なしの即 PK 方式とする。

⑤決勝は 20 分（前・後半 10 分）の延長戦を行い、なお決しない場合は PK 方式により勝者を決定する。

ア 延長戦に入る前のインターバルは 5 分間

イ PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間

⑥アディショナルタイムの表示を行う

8 その他

競技中、選手に不測の事態が生じたり、介助を必要としたりする時などは、主審にその旨を伝え指示をおおがなければならない。主審が認めた場合のみ、最大 2 名のピッチへの入場を許可される。

競 技 実 施 要 項

1 開・閉会式

①開会式は行わない。

②閉会式(表彰式)は決勝戦終了後に行う。

2 招集

①試合毎に、メンバー表（11 名の出場選手と 9 名の交代選手）を監督者会議の時に、競技本部に提出する。用紙は、指定の様式を使用すること。合わせてユニフォームの確認も行う。

②召集時刻は、原則として試合開始 5 分前に本部テント前に集合し、審判によるチェックを行う。

3 監督者会議

各試合の 1 時間前に監督者会議（MCM）を行う。（2 日目の第 1 試合のみ 30 分前）詳細な試合開始時間の決定、審判員の確認、出場選手の確認、ユニフォームの確認、試合会場の安全の確認（安全が確保できなければ試合の中止を決定できる）を行う。

4 表彰

- ① 優勝校には大会持ち回りの優勝カップと優勝旗を授与する。
- ② 上位3チームにトロフィーとメダルを授与する。
- ③ 優勝～4位までを公式記録とする。

5 試合日程について

- ①18日(土)1日目 会場(藤枝運動総合公園・藤枝市民グラウンド)
 - ア 10時30分 第1試合
 - イ 12時30分 第2試合
 - ウ 14時30分 第3試合
- ②18日(土)1日目 会場(人工芝グラウンド)
 - ア 9時30分 第1試合(B第1試合)
 - イ 10時40分 第2試合(C第1試合)
 - ウ 11時50分 第3試合(B第2試合)
 - エ 13時00分 第4試合(C第2試合)
 - オ 14時10分 第5試合(B第3試合)
 - カ 15時20分 第6試合(C第4試合)
- ③19日(日)2日目 準決勝
 - ア 準決勝 9時00分 会場(藤枝総合運動公園サッカー場、人工芝グラウンド)
 - イ 5位・7位決定戦 9時00分 10時00分 会場(藤枝市民グラウンド)
 - ウ 9位・11位決定戦 11時00分 12時00分 会場(藤枝市民グラウンド)
 - エ 3位決定戦 11時00分 会場(人工芝グラウンド)
 - オ 決勝 13時00分 会場(藤枝総合運動公園サッカー場)

6 その他

- ①ベンチは、組合せ表の番号が若いチームをピッチに向かって左側とする。
- ②競技場内では、選手、監督、コーチ、大会役員、競技役員、実施本部員及び主催者が認めた関係者(マスコミ等)以外入場することができない。(ただし、付添者については、別途考慮することがある。)
- ③大会参加者の大会開催中における傷病、競技中のけがについては、本部にて応急処置を行う。病院への搬送等については各校で行う。傷害保険には、各校で必ず加入すること。(病院の紹介は行います。)
- ④雨天時の取り扱い...原則として実施する。
荒天等により試合時間の変更や中止となった場合は、本部より各校の連絡担当者へ午前6時までに連絡をする。
- ⑤大会要項に規定されていない事項については実行委員会において協議の上決定する。